

ホームページを御覧の皆様へ

**研究課題「褥瘡予後予測のための褥瘡包括的
アセスメント方法の確立」へのご協力をお願い**

当研究室では、褥瘡の予防・管理のための研究を行っております。

【研究課題】

褥瘡予後予測のための褥瘡包括的アセスメント方法の確立（審査番号 3757-(6)）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻
老年看護学/創傷看護学分野

研究責任者 真田弘美
東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻
老年看護学/創傷看護学分野 教授

担当業務 データ解析

【共同研究機関】

研究機関 東京大学医学部附属病院
担当業務 匿名化・データ収集

【研究期間】

2008年4月1日から2023年4月24日まで

【対象となる方】

2008年4月1日から倫理審査再承認日までに東京大学医学部附属病院で褥瘡回診チームによる褥瘡診療を受けた方。

【研究の意義】

現在、褥瘡が治るかどうかを予測する方法として、肉眼的な診断の他に、サーモグラフィを用いた温度測定や超音波エコーを用いた検査がありますが、その予測が必ずしも当たるとは限りません。治療方法を決定するのに、褥瘡の治癒予測は重要ですが、これらの方法では十分でないため、より正確な予測方法を確率することで、より適した褥瘡治療・ケアを提供できるようになる可能性があります。

【研究の目的】

現在褥瘡回診で検査している、血流状態や褥瘡に出ている炎症性蛋白質の検査結果を解析することで、より正確な予測方法を確立することを目的としています。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究

科・医学部長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や画像検査、細菌検査などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの情報・データ等は、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において真田弘美が、鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、下記の研究事務局までご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。ご連絡いただく前に論文等で公開されたデータにつきましては、取り下げることはできません。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら下記問い合わせ先へお尋ねください。

この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻老年看護学/創傷看護学分野真田研究室の委任経理金から支出されています。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

2019年1月

【問い合わせ先】

東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 老年看護学/創傷看護学分野
准教授 仲上豪二郎

住所：東京都文京区本郷 7-3-1

電話：03-5841-3424（内線23424） FAX：03-5841-3442

Eメールでのお問い合わせ：gojiron-tky_at_umin.ac.jp（_at_を@に変えてください）